



拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和4年9月19日（祝日）開催の第31回日本交通医学工学研究会学術総会は、新型コロナウイルス感染症対策のため前回に引き続きオンラインにて開催させていただきます。

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

敬 具

記

主 題： 長く安全に運転を楽しめる社会にむけて

会 期： 令和4年9月19日（月・祝）10:00～17:00

会 長： 本会理事 原 徹

（前 三菱自動車工業株式会社 理事

現 三菱自動車エンジニアリング株式会社 代表取締役 社長）

開催形式： Zoom ウェビナー

1. Zoomのご使用にあたって

・本学術総会はZoomアプリケーションをインストールすることによって参加できます。

*Zoomアプリを使用せず、直接ブラウザからミーティングに入ると、一部の機能が使用できないことがあります。

2. 参加に必要なもの

・デバイス（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）

・インターネット環境

・招待状（ウェビナーID、パスコード）・・・参加申し込み及び参加費振込をされた方に別途メールにてお送り致します。

*参加の際に必要なWi-Fi環境、通信料等は、参加者の自己負担になります。

*できる限り通信状況のよい環境や機器(PC推奨)を利用されることをお勧めいたします。

3. 参加方法

・参加申し込みならびに参加費振込をされた方のメールアドレスへ、ウェビナーの招待状を9月上旬に事務局からお送りいたします。

・招待状を受取りましたら**必ず事前登録**をお願いいたします。

事前登録をして、承認された方のみ参加できます。（事前登録の方法については、申込をされた方に詳細をお知らせいたしますので、そちらをご参照ください。）

以上

◆お申し込み・手続きのご案内

賛助会社の会員の方は各担当者までお申し込み下さい。また個人会員の方は氏名、連絡先、TEL、FAX、(E-MAIL)をご記入の上、ハガキ・FAX または E-MAIL にて下記宛にお申し込み下さい。お申込みの方には、後日、抄録集と振込用紙をお送り致します。なお当日のキャンセルはお受けいたしかねますのでご容赦下さい。

締切日：一般9月9日（金） 賛助会社会員8月31日（水）

費 用：学術総会費 10,000円（正会員年会費 5,000円、参加費 5,000円）

（お振込みは9月9日（金）までをお願いします。）

宛先 〒460-0008 名古屋市中区栄1-7-20-5B 日本交通医学工学研究会

TEL:052-222-4811 FAX:052-222-4812

E-MAIL:info@jatme.jp 【HP】https://www.jatme.jp

第31回 日本交通医学工学研究会 学術総会のプログラム

主 題：長く安全に運転を楽しめる社会にむけて

会 期：令和4年9月19日（月・祝）10:00～17:00

会 長：本会理事 原 徹

（前 三菱自動車工業株式会社 理事

現 三菱自動車エンジニアリング株式会社 代表取締役 社長）

開催形式：ZOOM ウェビナー

◆開会・挨拶 (10:00～10:20)

◆シンポジウムA：高齢者の認知・身体機能支援 (10:20～12:05)

A-1 健康長寿とモビリティ

～高齢者は運転を続けるべきか、やめるべきか？～ (35分)

市川 政雄 筑波大学 医学医療系 教授

A-2 高齢者の自動車運転を考える上で必要な認知症の知識 (35分)

浦上 克哉 鳥取大学 医学部 認知症予防学講座 教授

A-3 高齢者の認知・身体機能低下を補完する望ましい技術とは (35分)

～交通事故などに表れる高齢運転者の特徴と望まれる安全対策～

関根 康史 福山大学 工学部 機械システム工学科 准教授

◆パネルディスカッションA (12:05～12:30)

◆休憩 (12:30～13:30)

◆特別講演 自動車の運転をポジティブにとらえる (13:40～14:30)

赤松 幹之 産業技術総合研究所 ヒューマンモビリティ研究センター

首席研究員

◆コーヒープレイク (14:30～14:45)

◆シンポジウムB：健康起因事故の予防と対策 (14:45～16:30)

B-1 健康起因事故の実態と事故抑制 (35分)

伊藤 安海 山梨大学 大学院総合研究部 教授

B-2 運転者の異変を感知するロジックとクルマシステム (35分)

～ドライバー異常時対応システム～

栃岡 孝宏 マツダ株式会社 商品戦略本部 技術企画部 主査

B-3 運転者の体調急変予知を目指して (35分)

辻 敏夫 広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授

◆パネルディスカッションB (16:30～16:55)

◆閉会 (16:55～17:00)

The 31th Scientific Meeting Program

The Japan Association of Traffic Medicine & Engineering

Main Theme : Working Towards a Society in Which Driving Can be Enjoyed Safely and Forever

Date : September 19,2022(Mon) From 10:00 to 17:00

President : Toru Hara

Venue : online

- 10:00~10:20 ◆ Opening
- 10:20~12:05 ◆ Symposium A : Supporting Elderly Drivers Both Cognitively and Physically
[A- 1] Healthy aging and mobility
 ~Should older adults continue or stop driving?~
 Masao Ichikawa
 University of Tsukuba
- [A- 2] Knowledge of dementia necessary for thinking about driving a car for
 the elderly
 Katsuya Urakami
 Tottori University
- [A- 3] What is the Desirable Technology to Complement Decreased Cognitive
 and Physical Function of Elderly Drivers?
 ~Characteristics of Elderly Driving Estimated from Traffic Accidents
 and Desired Safety Countermeasures for its Characteristics~
 Yasufumi Sekine
 Fukuyama University
- 12:05~12:30 ◆ Panel Discussion A
- 12:30~13:30 ◆ Lunch Break
- 13:40~14:30 ◆ Special Lecture
 Positive aspects of car driving
 Motoyuki Akamatsu
 National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
- 14:30~14:45 ◆ Coffee Break
- 14:45~16:30 ◆ Symposium B : Preventing Accidents Caused by Health Complications
[B- 1] Study on the actual situation of health-related vehicle collisions
 and preventive measures
 Yasumi Ito
 University of Yamanashi
- [B- 2] Logic to detect driver's emergency and the vehicle system
 ~Emergency Driving Stop System~
 Takahiro Tochioka
 Mazda Motor Corporation
- [B- 3] Towards prediction of sudden changes in physical condition of drivers
 Toshio Tsuji
 Hiroshima University
- 16:30~16:55 ◆ Panel Discussion B
- 16:55~17:00 ◆ Closing

◆オンライン参加に関して◆

《本学術総会における Zoom ウェビナーについて》

- ・本研究会事務局及び講演者が「ホスト」または「パネリスト」となり、画像と音声を参加者全員に共有する、オンライン講演になります。
- ・参加者の皆様は「視聴者」になり、ご自身の画面や音声は全体に共有されません。
- ・本学術総会の質疑応答やパネルディスカッション時の質問は、チャット機能で行います。
- ・パネルディスカッションの時間内にお答えできなかった質問は、後日質問者様へ事務局より回答をご案内します。
- ・いただいたご質問は、学術総会終了後に発行する講演集に掲載させていただきます。

《遵守事項》

- ・本学術総会に関する録音・録画・撮影（スクリーンショットなど）および、それらの転用や SNS、YouTube などへの掲載は一切禁止しています。
- ・本研究会から配信された総会参加用のアクセス情報の他者への閲覧や譲渡、および SNS を含めインターネット上の掲載を禁止しています。また、本会からの正規の手続以外の方法によってアクセス情報を入手した方は参加することはできません。

《免責事項》

- ・ご参加中や接続時に不具合等が生じて Zoom 利用における技術的なサポートは本研究会で対応することはできません。
- ・ネットワーク機器・回線等の故障等によりサービスの中断・遅延が発生し、ご参加できなかった場合において本研究会は参加登録費の返金等をいたしません。
- ・ネットワーク機器・回線等の故障等によりサービスの中断・遅延が発生し、ご参加できなかったことに派生して損害が生じた場合において本研究会は一切の責任を負いません。

以上